



平成25年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月14日

上場取引所 東 福

上場会社名 東福製粉株式会社

コード番号 2006 URL <http://www.tofuku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 野上 英一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長

(氏名) 中路 節

TEL 092-781-1661

四半期報告書提出予定日 平成25年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第2四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	1,727	0.2	34	—	36	—	22	—
24年9月期第2四半期	1,724	9.0	△19	—	△21	—	△23	—

(注) 包括利益 25年9月期第2四半期 97百万円 (—%) 24年9月期第2四半期 △9百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第2四半期	2.22	—
24年9月期第2四半期	△2.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
25年9月期第2四半期	4,156	—	1,740	—	41.9	174.78
24年9月期	3,787	—	1,643	—	43.4	165.01

(参考) 自己資本 25年9月期第2四半期 1,740百万円 24年9月期 1,643百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	—	—	0.00	0.00
25年9月期	—	—	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,640	8.4	52	—	46	—	27	—	2.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期2Q	10,000,000 株	24年9月期	10,000,000 株
② 期末自己株式数	25年9月期2Q	40,383 株	24年9月期	40,383 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期2Q	9,959,617 株	24年9月期2Q	9,960,233 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。平成25年5月10日付にて、四半期財務諸表に対する四半期財務諸表レビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成24年10月1日～平成25年3月31日)における我が国経済は、景気は一部に弱さが残るものの、輸出や設備投資が下げ止まり個人消費も持ち直しており、さらに企業収益にも改善の兆しが見られる等全体的に持ち直しの動きが見られるようになりました。ただし、海外景気の下振れが引き続き景気の下押しリスクとなっているほか、雇用・所得環境の先行きも依然不透明な状況が続いております。

製粉業界におきましては、世界的な天候不順等の影響により海外穀物相場の動きは不安定であり、また最近の円安傾向を反映して、政府売渡小麦価格は、昨年10月の約3%の引き上げに続き本年4月には9.7%の大幅な引き上げが予定されております。さらに、デフレ等の影響による低価格志向を背景とした販売競争も依然として続いております。

このような中、当社グループは、既存取引先の拡充等による販売力の強化や製造効率の向上及びコストの削減等に努めて参りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高で17億2千7百万円と対前年同期比0.2%の増収となりました。損益面につきましては、営業利益3千4百万円(前年同期営業損失1千9百万円)、経常利益3千6百万円(同経常損失2千1百万円)、四半期純利益2千2百万円(同四半期純損失2千3百万円)とそれぞれ増益となりました。

セグメントごとの業績を示すと次のとおりであります。

〈製粉事業〉

製粉事業につきまして主力の小麦粉は、政府売渡小麦価格の改定に伴い昨年7月に大幅な製品価格の引き下げを、また同12月には製品価格の引き上げを行っております。かかる状況下において販売力の強化に努めた結果、販売数量で対前年同期比9.1%の増加となりましたが、上記価格改定による製品価格引き下げの影響が大きく、売上高では同2千4百万円減の11億4千8百万円(同2.0%減)となりました。

副製品のふすまは、生産数量の増加に伴う販売数量の増加及び好調な市況を背景とした販売単価の上昇により、売上高で1億1千万円と対前年同期比1千8百万円(同19.6%増)の増収となりました。

ミックス粉は、小麦粉同様販売数量は増加しましたが販売競争の激化に伴う価格の引き下げ等により、売上高は前年同期並みの7千6百万円(同1.2%減)となりました。

商品は、子会社の販売が好調に推移したこと及び玄米価格の上昇が寄与したことにより、売上高は対前年同期比1千7百万円増加の3億7千5百万円(同4.8%増)となりました。

不動産収入につきましては、昨年3月に本社敷地内に所有する賃貸物件のテナントとの契約が終了したため、売上高は大幅に減少し0百万円となりました。本物件につきましては、外部に委託しておりました製品の保管及び商品発送業務等について活用を図りコストの軽減に努めておりますが、さらに一層の積極的な活用を図ってまいります。

以上の結果、製粉事業の売上高は17億1千1百万円(同0.1%減)、セグメント利益は1億2千万円(同11.8%増)となりました。

〈不動産賃貸事業〉

不動産賃貸事業につきましては、テナントの入れ替えに伴い、一昨年12月から新テナントが入居したため、売上高1千6百万円(同5百万円増)、セグメント利益7百万円(同セグメント損失1千3百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結累計期間末における総資産残高は、前連結会計年度末(平成24年9月30日)に比べ3億6千8百万円増加し、41億5千6百万円となりました。この主な要因は、原材料及び投資有価証券の増加によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ2億7千1百万円増加し、24億1千5百万円となりました。この主な要因は、買掛金及び短期借入金の増加によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ9千7百万円増加し、17億4千万円となりました。この主な要因は、株式等評価差額金及び繰越利益剰余金が増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ1千7百万円減少し、2億8千万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、5千1百万円の支出となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益3千6百万円、減価償却費6千1百万円及び仕入債務の増加2億2千8百万円の収入に対して、たな卸資産の増加により3億6千6百万円支出したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、4百万円の支出となりました。この主な要因は、設備投資に9百万円支出したことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、3千7百万円の収入となりました。この主な要因は、長期借入金返済1億1千4百万円及び社債償還2千万円の支出に対して、短期借入金1億7千6百万円の収入によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年9月期の連結業績予想につきましては、原料小麦価格の動向や電力料金の値上げ問題さらには低価格志向を背景とした販売競争の激化など当社を取り巻く環境は依然として厳しいものがありますが、一層の販売力の強化や製造効率の向上、さらには徹底したコスト削減を推し進めておりますので、平成24年11月13日に公表いたしました通期業績予想のとおりに変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	298,216	280,432
受取手形及び売掛金	524,980	507,731
商品及び製品	186,826	227,102
原材料及び貯蔵品	500,422	826,555
その他	34,692	40,080
貸倒引当金	△2,826	△2,789
流動資産合計	1,542,311	1,879,113
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	707,796	684,676
機械装置及び運搬具(純額)	522,865	493,295
その他(純額)	148,834	146,217
有形固定資産合計	1,379,497	1,324,188
無形固定資産	20,212	18,157
投資その他の資産		
投資有価証券	557,580	665,598
その他	420,635	399,691
貸倒引当金	△132,471	△130,327
投資その他の資産合計	845,745	934,962
固定資産合計	2,245,455	2,277,308
資産合計	3,787,766	4,156,422
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	217,867	446,664
短期借入金	1,012,000	1,188,000
1年内返済予定の長期借入金	224,538	204,038
1年内償還予定の社債	40,000	20,000
未払法人税等	3,095	17,485
賞与引当金	20,711	12,949
その他	120,127	108,449
流動負債合計	1,638,339	1,997,586
固定負債		
長期借入金	358,302	264,146
退職給付引当金	835	835
その他	146,874	153,155
固定負債合計	506,011	418,136
負債合計	2,144,351	2,415,723

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	67,876	67,876
利益剰余金	1,116,921	1,139,041
自己株式	△3,517	△3,517
株主資本合計	1,681,280	1,703,400
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△37,866	37,299
その他の包括利益累計額合計	△37,866	37,299
純資産合計	1,643,414	1,740,699
負債純資産合計	3,787,766	4,156,422

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
売上高	1,724,059	1,727,369
売上原価	1,463,128	1,439,747
売上総利益	260,931	287,622
販売費及び一般管理費	280,617	253,482
営業利益又は営業損失(△)	△19,685	34,139
営業外収益		
受取利息	68	20
受取配当金	2,576	2,504
持分法による投資利益	12,689	11,879
その他	632	5,144
営業外収益合計	15,966	19,549
営業外費用		
支払利息	17,205	16,386
その他	299	362
営業外費用合計	17,505	16,749
経常利益又は経常損失(△)	△21,224	36,939
特別損失		
固定資産除却損	5,059	—
その他	49	—
特別損失合計	5,108	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△26,333	36,939
法人税、住民税及び事業税	3,119	15,987
法人税等調整額	△5,598	△1,167
法人税等合計	△2,479	14,820
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△23,854	22,119
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△23,854	22,119

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△23,854	22,119
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,093	74,081
持分法適用会社に対する持分相当額	183	1,083
その他の包括利益合計	14,276	75,165
四半期包括利益	△9,578	97,284
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△9,578	97,284

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△26,333	36,939
減価償却費	59,545	61,565
貸倒引当金の増減額(△は減少)	79	△2,180
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,423	△7,762
前払年金資産の増減額(△は増加)	△2,815	3,887
受取利息及び受取配当金	△2,645	△2,525
支払利息	17,205	16,386
持分法による投資損益(△は益)	△12,689	△11,879
固定資産除却損	5,059	—
売上債権の増減額(△は増加)	△91,443	20,962
たな卸資産の増減額(△は増加)	64,670	△366,409
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,585	228,796
その他	25,593	△13,547
小計	28,217	△35,766
利息及び配当金の受取額	2,633	2,525
利息の支払額	△17,764	△16,366
法人税等の支払額	△4,532	△2,020
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,554	△51,629
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△300	△300
定期預金の払戻による収入	300	300
有形固定資産の取得による支出	△2,849	△9,699
投資有価証券の取得による支出	△1,050	△1,358
その他	△3,141	7,009
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,041	△4,048
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	176,000
長期借入れによる収入	150,000	—
長期借入金の返済による支出	△102,180	△114,656
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
その他	—	△3,449
財務活動によるキャッシュ・フロー	27,820	37,894
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	29,333	△17,783
現金及び現金同等物の期首残高	356,727	298,166
現金及び現金同等物の四半期末残高	386,060	280,382

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		合 計 (千円)
	製粉事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	
売上高			
(1)外部顧客への売上高	1,713,307	10,752	1,724,059
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,713,307	10,752	1,724,059
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	107,657	△13,959	93,698

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利 益	金 額 (千円)
報告セグメント計	93,698
全社費用(注)	△113,384
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△19,685

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		合 計 (千円)
	製粉事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	
売上高			
(1)外部顧客への売上高	1,711,369	16,000	1,727,369
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,711,369	16,000	1,727,369
セグメント利益	120,387	7,112	127,500

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利 益	金 額 (千円)
報告セグメント計	127,500
全社費用（注）	△93,360
四半期連結損益計算書の営業利益	34,139

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。